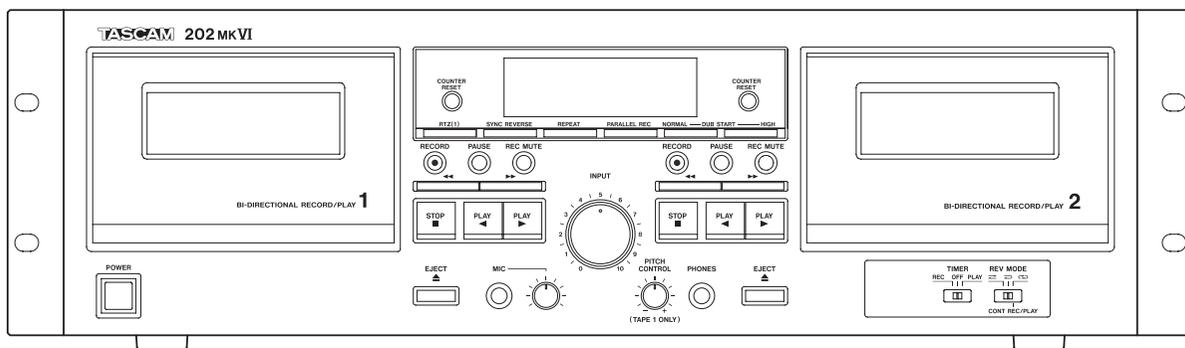


TASCAM

202mkVI

Double Auto Reverse Cassette Deck

取扱説明書





目次

目次	2
安全にお使いいただくために	3
お使いになる前に	6
カセットテープについて	8
各部の名前とはたらき(本体)	10
各部の名前とはたらき(ディスプレイ)	13
接 続	14
カセットテープを聴く	15
連続再生	17
□□□□に移動(TAPE1のみ)	18
リピート再生	18
カセットテープに録音する	19
マイクミキシング録音	22
連続録音	23
パラレル(同時)録音	24
ダビング	24
シンクロリバースダビング	26
タイマー再生/録音	27
困ったときは	30
仕 様	32



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<h2>警告</h2> <p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出た、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落とした、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年 1 回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm 以上）離して設置する ラックなどに入れるときは、機器の天面から 1U 以上、背面から 10cm 以上の隙間を空ける隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>



安全にお使いいただくために(続き)



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源プラグをコンセントから抜く

移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す
コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く
通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。



指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する
また、接続は指定のコードを使用する

電源を入れる前には、音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする
異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



注意

5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご相談ください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。



お使いになる前に

このたびは、TASCAM Double Auto Reverse Cassette Deck 202MKVIをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト(<http://tascam.jp/>)からダウンロードすることができます。

本製品の構成

本製品の構成は以下の通りです。

なお、本機を開梱する時、損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

- ・本体 ×1
- ・ラックマウントビスケット ×1
- ・取扱説明書(本書、保証書付) ×1

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしみ模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

⚠ 注意

再生や録音などの動作中には、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。テープ巻込みなどの原因となります。

商標および著作権に関して

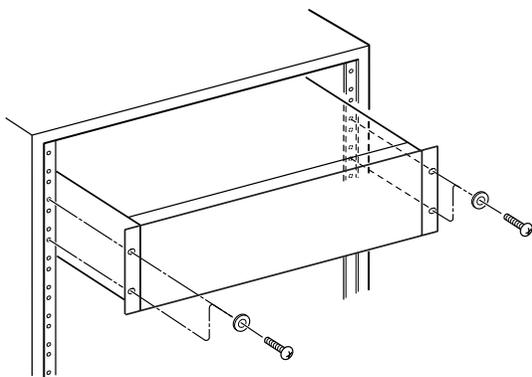
- TASCAM、および タスカム は、ティアック株式会社の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。したがって、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本機の上に1U以上(5cm以上)のスペースを開けてください。



結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

ユーザー登録について

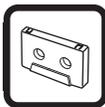
TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

<http://tascam.jp/support/registration/>

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付(裏表紙に記載)されています。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
 - 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター(裏表紙に記載)が修理いたします。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
 - 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
 - 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
 - 型名、型番 (202MKVI)
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責については、ご容赦ください。
- 本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

- お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。
- 当社は、この製品の補修用性能部分(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。



カセットテープについて

お手入れ

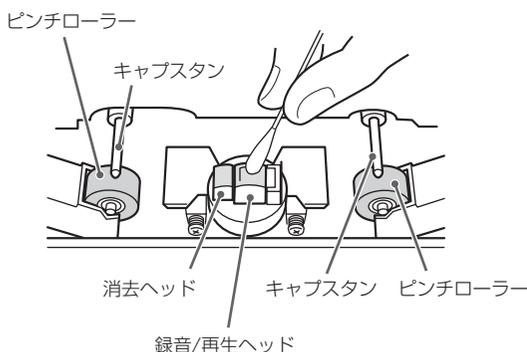
トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠️ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

カセットデッキのクリーニング

クリーニング

ヘッド部が汚れると、録音・再生の音質が悪化したり、音飛びの原因になります。また、テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。
約10時間の使用を目安に、市販のクリーニング液を綿棒に含ませて、ヘッドとピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。



- ヘッドのクリーニング液が乾いてから、カセットテープをセットしてください。

本機で使用できるカセットテープ

本機で再生できるカセットテープ

ノーマル(タイプ I) ハイポジション(タイプ II)
メタル(タイプ IV)

本機で録音できるカセットテープ

ノーマル(タイプ I) ハイポジション(タイプ II)

- 本機のTAPE1 と TAPE2 は、別々にテープの種類を検出しますので、種類の異なるカセットを同時に使用することができます。

使用上の注意

- カセットを開けたり、テープを引き出したりしないでください。
- テープに直接手を触れないでください。

保管上の注意

- 磁石や磁気を帯びたものに近付けないでください。雑音が入ったり、録音内容が消えてしまうことがあります。
- ホコリの多い場所に放置しないでください。
- 高温・多湿の場所での保管は避けてください。

使用できないカセットテープ

次のようなカセットテープを使用すると、正常な動作をしないことがあります。テープが巻き込まれるなど思わぬトラブルを起こすこともありますので、使わないでください。

変形したカセットテープなど

カセットが変形していたり、テープの走行が不安定なもの。早送り、巻戻し中に異音を生ずるもの。

長時間テープ

90分を超えるテープは大変薄くて伸びやすいため、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。本機ではご使用にならないでください。最悪の場合はカセットテープが取り出せなくなります。

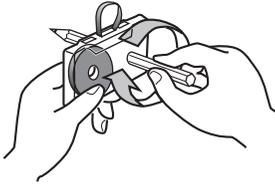
エンドレステープ

テープが巻き込まれる恐れがありますので、絶対に使わないでください。最悪の場合はカセットテープが取り出せなくなります。

テープの「たるみ」

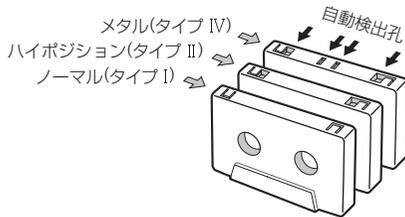
ご使用前に、カセットのテープがたるんでいないか確かめてください。

テープがたるんでいると、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻き取ってから使用してください。



自動検出孔について

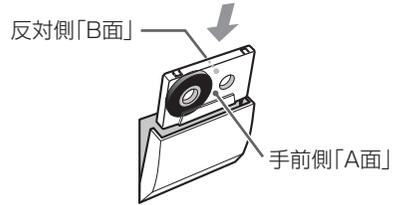
本機のカセットデッキはカセットテープの自動検出孔によってテープの種類を自動検出します。自動検出孔のあるカセットテープをお使いください。



カセットテープの面について

この取扱説明書では、手前の面を「A面」、反対側の面を「B面」と呼びます。

「A面」と「B面」を裏返しにセットしたときは、「A面」を「B面」、「B面」を「A面」に読み換えてください。

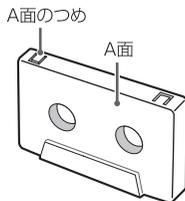


- 新品のカセットテープは、図のように「向かって左側にテープが巻かれている」面が「A面」になります。

誤消去を防止するには

カセットテープには、大切な録音内容を誤って消さないように、誤消去防止用のつめがついています。つめはカセットの両面用にそれぞれあります。

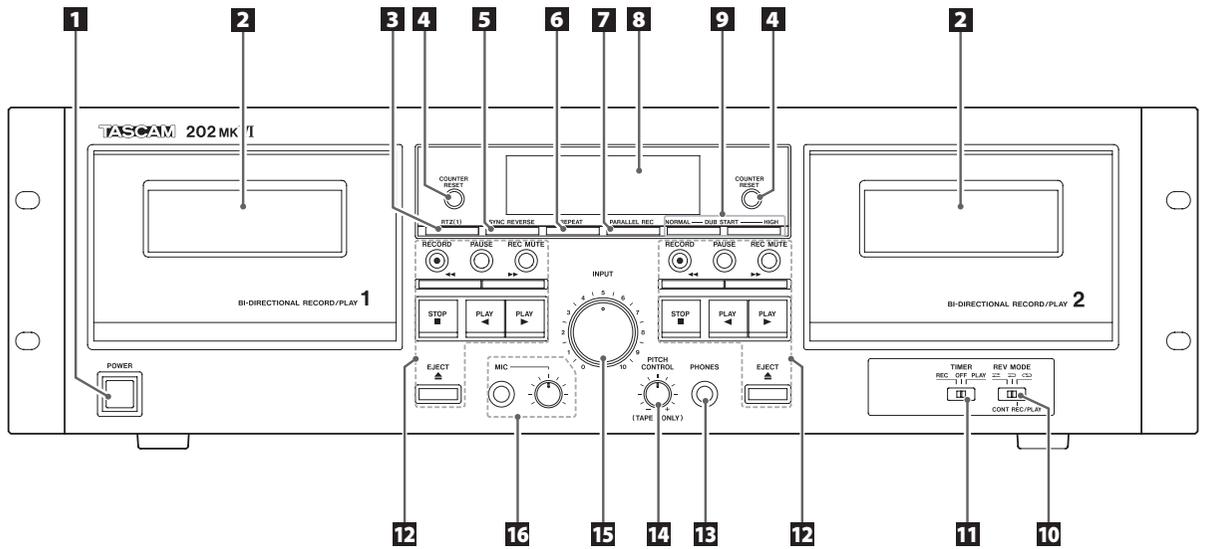
ドライバーの先などで折って取り除くと、誤消去防止装置が働いて録音ができなくなります。



- 再度、録音をしたいときは、つめを取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。その際にテープ自動検出孔はふさがないようにご注意ください。



各部の名前とはたらき(本体)



1 電源ボタン(POWER)

電源のオン/オフを切り換えます。

2 TAPE1 / TAPE2 カセットホルダー**3** RTZ(1) ボタン(移動)(TAPE1 のみ)

テープカウンターが「0000」の位置に移動して停止します。(18 ページ)

4 カウンターリセットボタン(COUNTER RESET)

テープカウンターを「0000」にリセットします。

5 シンクロリバースボタン(SYNC REVERSE)

シンクロリバースダビング(A面からB面に切り換わるタイミングを合わせるダビング)のオン/オフを切り換えます。(26 ページ)

6 リPEATボタン(REPEAT)

繰返して聴きたい部分を指定します。(18 ページ)

7 パラレル録音ボタン(PARALLEL REC)

TAPE1 と TAPE2 への録音を同時に開始します。(24 ページ)

8 ディスプレー

テープカウンターやレベルメーターなどが表示されます。(13 ページ)

9 ダビングスタートボタン(DUB START)

TAPE1 から TAPE2 へのダビングを開始します。(24 ページ)

定速ダビングボタン(NORMAL)

通常で速度でダビングします。

倍速ダビングボタン(HIGH)

2倍の速度でダビングします。

- TAPE 2からTAPE 1へのダビングはできません。

10 リバースモードスイッチ(REV MODE)

リバースモードを切り換えます。
(再生時:15 ページ、録音時:19 ページ)

11 タイマー設定スイッチ(TIMER)

このスイッチで、タイマーの設定(タイマー再生、タイマー録音、またはタイマーオフ)を選びます。通常はオフにしておいてください。
タイマー再生/録音をするには、市販のオーディオタイマーを本機に接続してください。(27 ページ)

12 TAPE1 / TAPE2 操作ボタン**録音ボタン(RECORD ●)**

録音をするときに使います。
押すと録音待機状態になります。(19 ページ)

一時停止ボタン(PAUSE)

再生/録音を一時停止します。
もう一度押すと再生/録音を再開します。

録音ミュートボタン(REC MUTE)

録音中または録音待機中に、約4秒間の無録音部分を作るときに使用します。(21 ページ)

早送り/巻戻しボタン(◀/▶)

早送り/巻戻しに使います。

停止ボタン(STOP ■)

再生/録音/早送り/巻戻しを停止します。

再生ボタン(PLAY ◀/PLAY ▶)

それぞれの方向にテープが走行します。
A面を再生/録音するときはPLAY▶、B面のときはPLAY◀を押してください。
再生/録音の一時停止状態のときに押すと、再生/録音を再開します。

カセットホルダー開ボタン(EJECT ▲)

カセットテープが停止しているときに、カセットホルダーを開きます。

13 ヘッドホン出力端子(PHONES)

ヘッドホンをお使いになるときは、ヘッドホンプラグをこの端子に差し込んでください。
ヘッドホンプラグを差し込んでも、アナログ音声出力端子(ANALOG OUTPUT)からの音声は出力されません。

- ヘッドホンの音量調整機能はありません。

⚠ 注意

ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン/オフ、またはヘッドホン出力端子の抜き差しを行わないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

14 ピッチコントロールつまみ(PITCH CONTROL)

再生時のピッチ(音程)を調節します。録音時やダビング時には機能しません。(17 ページ)

15 録音レベル調節つまみ(INPUT)

録音レベルを調節します。

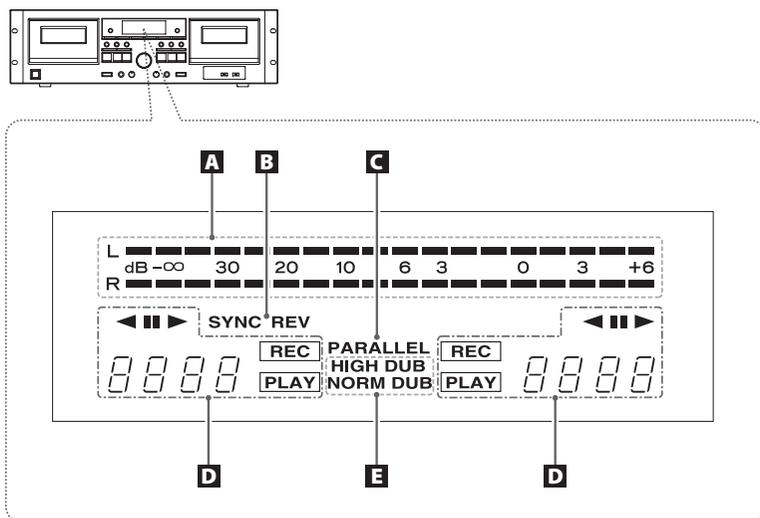


各部の名前とはたらき(本体)(続き)

16 マイク入力端子(MIC)/マイクレベルつまみ

マイクを使用して録音する時は、この端子にマイクのプラグを差し込み、つまみを回して適切なレベルに調節してください。(22 ページ)

本機はステレオマイクには対応していません。
モノラルマイクをお使いください。



A ピークレベルメーター

再生/録音中にレベルを表示します。

B シンクロリバース表示(SYNC REV)

シンクロリバースダビング(A面からB面に切り換わるタイミングを合わせるダビング)がオンの時に点灯します。(26 ページ)

C パラレル録音表示(PARALLEL)

TAPE1 と TAPE2 へのパラレル録音中に点灯します。(24 ページ)

D TAPE1 / TAPE2 状態表示

再生/録音方向表示(◀/▶)

再生/録音方向を表示します。A面を再生/録音しているときは▶、B面のはきは◀が表示されます。

一時停止表示(II)

再生/録音の一時停止中に点灯します。

テープカウンター(0000)

テープカウンターを表示します。
カウンターリセットボタン(COUNTER RESET)を押すと「0000」にリセットされます。
リピート再生のときは、「RE01」、「RE02」と表示されます。

録音表示(REC)

録音中、または録音待機中に点灯します。
録音ミュート(REC MUTE)中に点滅します。

再生表示(PLAY)

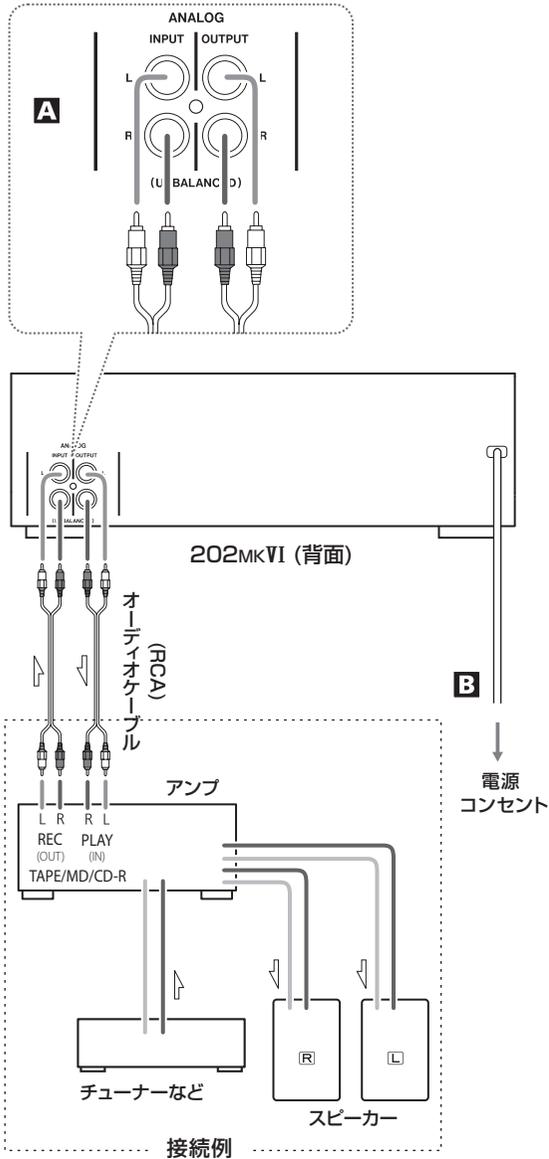
再生中、または録音中に点灯します。

E ダビング表示

ダビング中に点灯します。
定速ダビング中は「NORM DUB」、倍速ダビング中は「HIGH DUB」が点灯します。(24 ページ)



接 続



⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

A アナログ音声入出力端子 (ANALOG INPUT/OUTPUT)

ANALOG INPUT:

アンプのLINE OUT端子やCDプレーヤーなどの出力端子と接続してください。

ANALOG OUTPUT:

アンプのTAPE/MD/CD-R端子やAUXなどの入力端子と接続してください。

詳しくは左接続図をご覧ください。

B 電源コード

全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注意

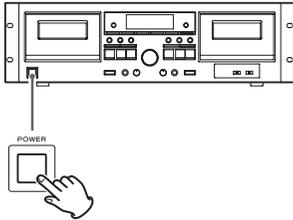
交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。



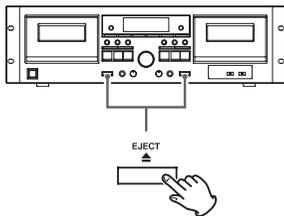
カセットテープを聴く

本機では、ノーマル(タイプ I)、ハイポジション(タイプ II)、またはメタル(タイプ IV)のテープを再生することができます。

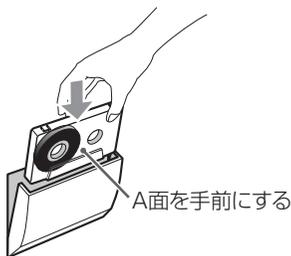
1 電源ボタン(POWER)を押して、電源をオンにする。



2 開ボタン(EJECT ▲)を押して、カセットホルダーを開ける。



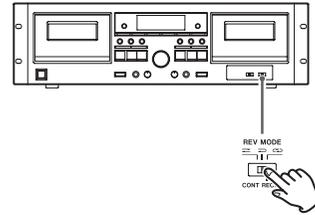
3 カセットを入れる。



テープが露出している部分を下にして入れ、カセットホルダーを手でゆっくり押しつけて閉めてください。無理に押し込むと故障の原因になりますのでご注意ください。

- テープにたるみがないか確認してください。(9 ページ)
- 故障の原因になりますので、変形したテープや、たるんだテープを使わないでください。また、カセットホルダーを開けるときは、手で無理やり開けないでください。
- この取扱説明書では、手前の面を「A面」、反対側の面を「B面」と呼びます。「A面」と「B面」を裏返しにセットしたときは、「A面」を「B面」、「B面」を「A面」に読み換えてください。

4 リバースモードスイッチ(REV MODE)で、リバースモードを選ぶ。



3つのモードから選べます。

▶ 片面モード

片面のみの再生をします。

↔ 両面モード

両面を連続して再生します。

A面の最後まで再生すると、自動的にリバース(反転)し、引き続きB面を再生します。

↻ リピートモード

両面を最長5回まで連続して再生します。

TAPE1 と TAPE2 カセットホルダーの両方にカセットが入っていると、TAPE1 と TAPE2 が連続して再生されます。(17 ページ「連続再生」)

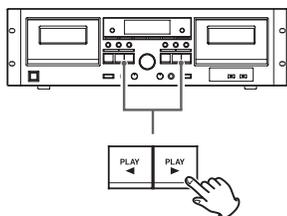
接
続

再
生



カセットテープを聴く(続き)

- 5** 再生ボタン(PLAY ◀/PLAY ▶)を押して再生を始める。



PLAY ▶ ボタン

このボタンを押すと、A面の再生が始まります。

リバースモードが二のとき

A面の最後まで再生し、停止します。

リバースモードが三のとき

A面に引き続きB面の最後まで再生し、停止します。

リバースモードが四のとき

両面を5回繰り返し再生し、停止します。

TAPE1 と TAPE2 カセットホルダーの両方にカセットが入っていると、TAPE1 と TAPE2 が連続して再生されます。(17 ページ「連続再生」)

PLAY ◀ ボタン

このボタンを押すと、B面の再生が始まります。

リバースモードが二、または三のとき

B面の最後まで再生し、停止します。

リバースモードが四のとき

B面を再生した後、両面を4回繰り返し再生し、停止します。

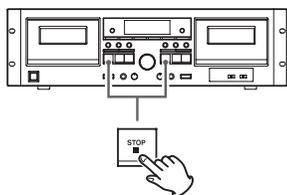
TAPE1 と TAPE2 カセットホルダーの両方にカセットが入っていると、TAPE1 と TAPE2 が連続して再生されます。(17 ページ「連続再生」)

⚠ 注意

再生中は、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。

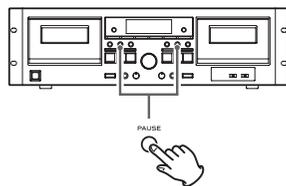
テープ巻込みなどの原因となります。

再生を停止する



停止ボタン(STOP ■)を押すと再生が停止します。

再生を一時停止する

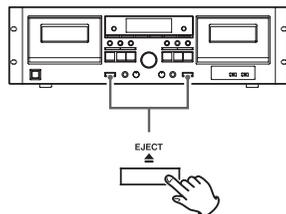


一時停止ボタン(PAUSE)を押すと再生が一時停止します。

再び一時停止ボタン(PAUSE)を押すか、または再生ボタン(PLAY ◀/PLAY ▶)を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

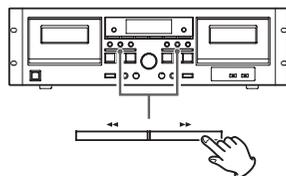
- 一時停止中に、ディスプレイに表示されている現在の再生方向(PLAY ◀/PLAY ▶)と逆方向の再生ボタン(PLAY ◀/PLAY ▶)を押すと、テープは一時停止のままで再生方向だけ変わります。

カセットテープの取出し



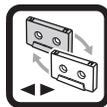
カセットテープが停止中に、開ボタン(EJECT ▲)を押してカセットホルダーを開き、取り出します。

早送り/巻戻しする



早送りボタン(▶▶)、巻戻しボタン(◀◀)を押します。

テープの最後まで早送り/巻戻しすると、停止します。途中で止めたいときは、停止ボタン(STOP ■)を押します。

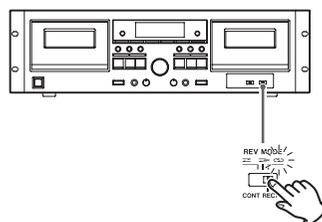


連続再生

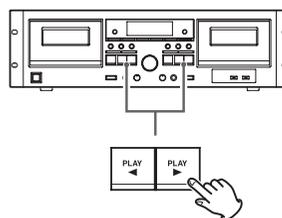
TAPE1 と TAPE2 を連続して再生することができます。

- TAPE1 と TAPE2 のカセットホルダーに再生するカセットを入れてください。

1 停止中に、リバースモードスイッチ(REV MODE)で を選ぶ



2 再生ボタン(PLAY ◀/PLAY ▶)を押して再生を始める。



再生は、TAPE1 または TAPE2 のA面、B面どちらからでも開始できます。
再生される順序は次のようになります。

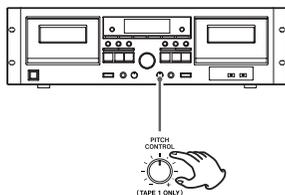


A面から再生を始めたとき
連続5往復再生して停止します。

B面から再生を始めたとき
再生を始めた方のテープのB面を再生した後、連続4往復再生して停止します。

ピッチコントロール(TAPE1 のみ)

TAPE1 の再生時にピッチ(音程)を変えることができます。

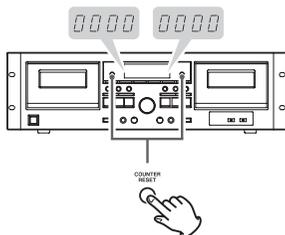


ピッチコントロールつまみ(PITCH CONTROL)を右(+方向)に回すと、テープ走行速度が速くなり音程が上がります。
(最大12%、音程で約1音上がります)

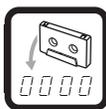
左(-方向)に回すと、テープ走行速度が遅くなり音程が下がります。
(最大12%、音程で約1音下がります)

- 録音時、またはダビング時にはこの機能は動きません。再生時のみ調節することができます。

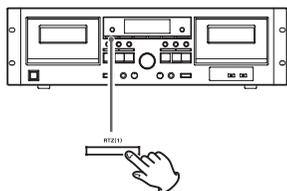
テープカウンター



カウンターリセットボタン(COUNTER RESET)を押すとそれぞれのテープカウンターが「0000」にリセットされます。
テープの特定の位置を記憶する場合にお使いください。
また、次のページの「0000」に移動」機能(TAPE1 のみ)と合わせて使うと便利です。



0000に移動(TAPE1のみ)



RTZ(1)ボタンを押すと、TAPE1 のテープがカウンター「0000」の位置まで早送り/巻戻しされて停止します。

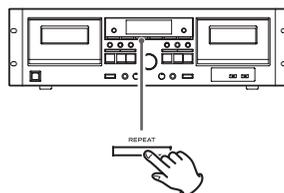
- 「RTZ(1)」とは、"Return to Zero TAPE1"の短縮表示です。
- カウンターが「9995」～「0004」では機能しません。
- この機能はTAPE1 でのみ使えます。



リピート再生

指定した部分を繰り返し聴くことができます。

- 1 再生中に、開始したいポイントでリピートボタン(REPEAT)を押す。



ディスプレイに、「RE 01」と表示されます。

- 2 終了したいポイントになったら、もう一度リピートボタン(REPEAT)を押す。



ディスプレイに、「RE 02」と表示されます。

自動的に開始ポイントに巻き戻り、終了ポイントまで再生します。終了ポイントにまで再生すると、再び開始ポイントまで巻き戻り、終了ポイントまで再生を繰り返します。

これを20回まで繰り返し、停止します。

リピート再生を途中で停止するには、停止ボタン(STOP ■)を押します。

- リピート中は、リピートボタン(REPEAT)と停止ボタン(STOP ■)以外のボタンは機能しません。
- 開始ポイントから終了ポイントまでは、テープカウンターで最低10カウント以上必要です。
- 指定できるリピート部分は再生している面のみです。A面とB面にわたって(リバースして)リピートすることはできません。



カセットテープに録音する

本機では、接続した外部入力機器の音声をカセットテープに録音することができます。
ノーマル(タイプ I)、またはハイポジション(タイプ II)のテープに録音することができます。

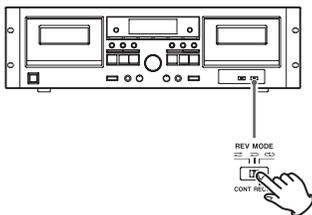
- 本機はメタルテープ(タイプ IV)への録音には対応していません。
- 片面のみの録音、または両面続けて録音することができます。
- ここでは外部機器からTAPE1 またはTAPE2 への録音を説明しますが、本機には、マイク音声のミキシング録音(22 ページ)、TAPE1 とTAPE2 の連続録音(23 ページ)、TAPE1 とTAPE2 のパラレル(同時)録音(24 ページ)の機能もあります。

1 カセットホルダーに録音用のカセットテープを入れる。



- 誤消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

2 リバースモードスイッチ(REV MODE)で、リバースモードを選ぶ。



2つのモードから選べます。

≡ 片面モード

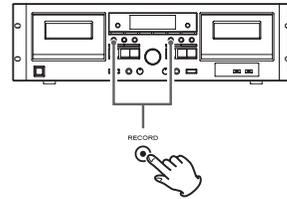
片面のみの録音をします。

≡ 両面モード

両面を連続して録音します。

A面の最後まで録音すると、自動的にリバースし、引き続きB面を録音します。

3 録音ボタン(RECORD ●)を押して、録音待機状態にする。



ディスプレイに || と REC が点灯します。

- 録音待機状態を解除する場合は、停止ボタン(■)を押します。

4 録音レベルを調節する。

録音を行う前には録音レベルを調節してください。適切な録音レベルではない場合、音が歪んだり(レベル大きすぎ)、ノイズが多い(レベル小さすぎ)録音になります。

1. 録音ソースを再生する。

例

- 接続したアンプの入力ソースを再生する
- 接続したプレーヤーを再生する
- 接続したチューナーの選局をする

再生

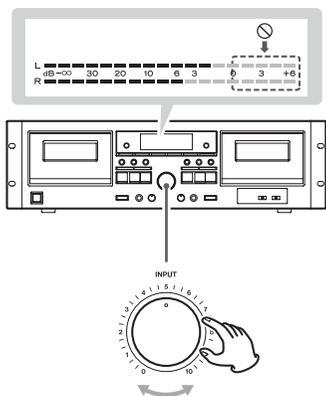
録音

次のページに続きます



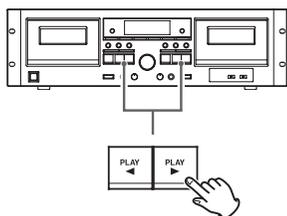
カセットテープに録音する(続き)

2. 録音レベル調節つまみ(INPUT)を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節する。



- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。

5 テープの録音方向を選ぶ。



A面、またはA/B両面に録音する場合

ディスプレイに表示されているテープの方向インジケータが、▶になっていることを確認してください。もしも◀になっている場合はPLAY▶ボタンを押してください。

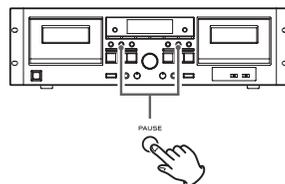
B面に録音する場合

ディスプレイに表示されているテープの方向インジケータが、◀になっていることを確認してください。もしも▶になっている場合はPLAY◀ボタンを押してください。

- このとき、ディスプレイに表示されている方向インジケータと同じ方向のボタンを誤って押すと、意図しない方向で録音が始まってしまうのでご注意ください。

録音したい方向のインジケータが表示されている場合は、6に進んでください。

6 録音を始める。



接続した機器で録音ソースを再生し、本機の一時停止ボタン(PAUSE)を押して、録音を開始します。

ディスプレイの||が消え、**REC**と**PLAY**が点灯します。

⚠ 注意

録音中は、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。
テープ巻き込みなどの原因となります。

録音を一時停止する

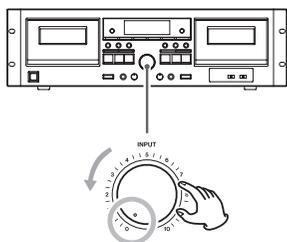
一時停止ボタン(PAUSE)を押します。
もう一度押すと録音を再開します。

録音を停止する

停止ボタン(STOP■)を押します。

- ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。

録音済みのテープを消去する

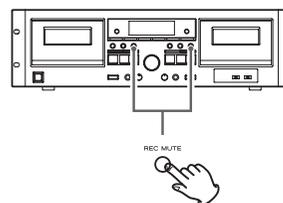


録音レベルを最小(0)にして上書き録音をすることによって、録音内容を消去することができます。

録音レベル調節つまみ(INPUT)を0に合わせてから、録音の手順(19 ページ)に従って録音してください。(4 の録音レベルの調節はスキップしてください。また録音ソースは必要ありません)

無録音部分をつくる(REC MUTE)

不要な部分を消去したり、曲間にスペースを入れながら録音することができます。



録音中または録音待機中に録音ミュートボタン(REC MUTE)を押すと、約4秒間の無録音部分を作り、録音待機状態になります。

4秒より長い時間を無音にしたいとき

録音ミュートボタン(REC MUTE)を押し続けます。押し続けている間は無録音部分が作られ、指を離すと録音待機状態になります。

4秒より短い時間を無音にしたいとき

録音ミュートボタン(REC MUTE)を押してから、3秒以内に一時停止ボタン(PAUSE)を押します。そこで無信号録音が終了し、録音待機状態になります。

一時停止ボタン(PAUSE)を押すと、録音を再開します。

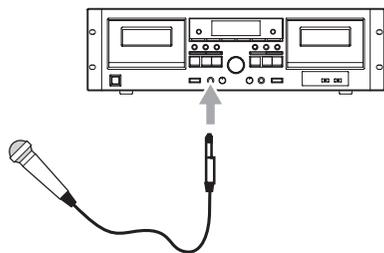
- 録音ミュート中は、ディスプレイの [REC] が点滅します。



マイクミキシング録音

外部接続した機器からのソースに、本機に接続したマイクの音をミキシングして録音することができます。マイクの音のみ録音することもできます。

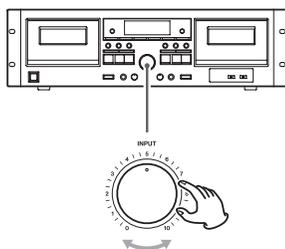
本機はステレオマイクには対応しておりません。モノラルマイクをお使いください。



フロントパネルのマイク入力端子(MIC)にマイクのプラグを接続し、録音の手順(19 ページ)に従って録音してください。

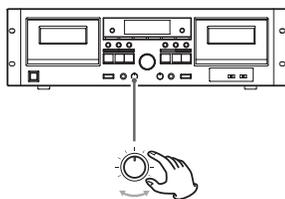
録音の手順 ■ の録音レベルの調節では、以下のようにソースとマイクの両方のレベルを調節してください。

1. ソースのレベルを調節する



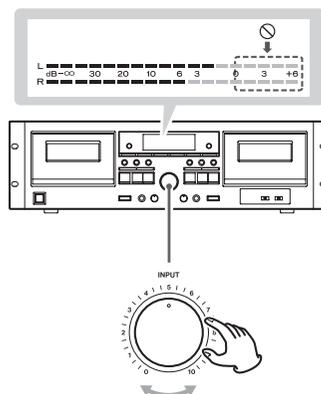
ソースを再生し、録音レベル調節つまみ(INPUT)で録音レベルを少し低めに調節します。

2. マイクのレベルを調節する



マイクの音を出しながら、マイクレベル調節つまみで、ソースとマイクの音のバランスを調節します。

3. 全体のレベルを調節する



ソースを再生し、マイクの音を出しながら、録音レベル調節つまみ(INPUT)で最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節します。

調整が終わったら、20 ページの録音の手順 ■ に進んでください。

- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。
- マイクの音は左右同じレベルで分配され、中央に定位します。
- ソースは、アナログ音声入力端子(ANALOG INPUT)に接続したアンプで選択するか、アナログ音声入力端子(ANALOG INPUT)に直接接続してください。(14 ページ)
- TAPE1 の音とマイクの音をミックスして TAPE2 に録音することはできません。また、TAPE2 の音とマイクの音をミックスして TAPE1 に録音することもできません。
- マイクの録音時は、ハウリング*を防止するためにヘッドホンでモニターされることをお勧めします。もしもスピーカーを使ってモニターする場合は、スピーカーの音量を下げたり、マイクをスピーカーに近づけないよう十分配慮してください。

*ハウリングとは
スピーカーから出た音がマイクに帰還して発振する現象。「ピー」という大きな音が出るため、場合によりスピーカーを破損することがある。

- マイクミキシング録音中でも録音ミュート(21 ページ)ができます。



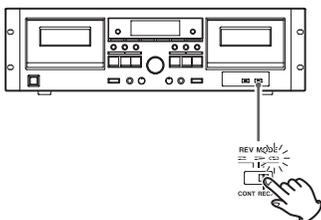
連続録音

外部接続した機器からのソースを、TAPE1 と TAPE2 に連続して録音することができます。

1 TAPE1 カセットホルダーと TAPE2 カセットホルダーの両方に録音用のカセットを入れる。

- 誤消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。
- A面を手前にしてセットしてください。

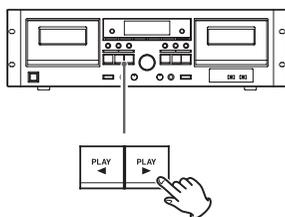
2 リバースモードスイッチ(REV MODE)で を選ぶ。



3 19 ~ 20 ページの録音の手順 4 に従って録音レベルの調節を行う。

4 テープの録音開始方向を選ぶ。

録音を始める面は、TAPE1 のA面、またはB面です。



A面から録音する場合

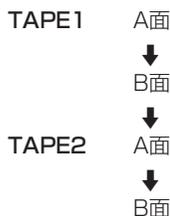
ディスプレイに表示されているテープの方向インジケータが、▶ になっていることを確認してください。もしも◀ になっている場合はPLAY▶ ボタンを押してください。

B面から録音する場合

ディスプレイに表示されているテープの方向インジケータが、◀ になっていることを確認してください。もしも▶ になっている場合はPLAY◀ ボタンを押してください。

- このとき、ディスプレイに表示されている方向インジケータと同じ方向のボタンを誤って押すと、意図しない方向で録音が始まってしまいますのでご注意ください。録音したい方向のインジケータが表示されている場合は、5 に進んでください。

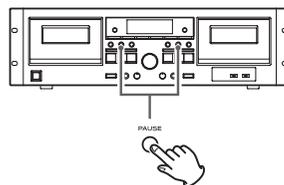
録音される順序は次のようになります。



TAPE1 のB面から録音を始めた場合は、B面が終わると TAPE2 のA面の録音が始まります。

- TAPE2 の録音はテープの録音方向に関係なく、必ずA面から始まります。

5 接続した機器で録音ソースを再生し、TAPE1 の一時停止ボタン(PAUSE)を押して、録音を始める。



ディスプレイの || が消え、REC と PLAY が点灯します。

⚠ 注意

録音中は、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。テープ巻込みなどの原因となります。

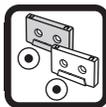
録音を一時停止する

一時停止ボタン(PAUSE)を押します。もう一度押すと録音を再開します。

録音を停止する

停止ボタン(■)を押します。

- ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。
- TAPE1 B面の録音が終わると、TAPE2 のA面の録音へ切り替わるときには数秒かかります。
- 連続録音中でも録音ミュート(21 ページ)ができます。



パラレル(同時)録音

外部接続した機器からのソースを、2本のカセットに同時(パラレル)に録音することができます。

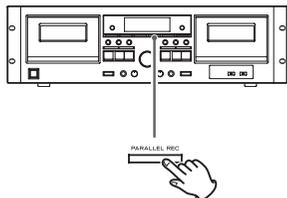
1 TAPE1 カセットホルダーと TAPE2 カセットホルダーの両方に録音用のカセットを入れる。

- 誤消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にゼロハンテープなどを貼ってふさいでください。

2 19 ~ 20 ページの録音の手順の 2 ~ 5 に従って録音のセッティングをする。

3 TAPE1 の停止ボタン(STOP ■)を押して、一旦録音待機状態を解除する。

4 パラレル録音ボタン(PARALLEL REC)を押して、録音を始める。



ディスプレイに PARALLEL が点灯します。

- 一時停止状態になっているとパラレル録音が始まりません。停止状態にしてから開始してください。
- パラレル録音中でも、TAPE2 の録音ミュートボタン(REC MUTE)を使って無音録音(21 ページ)ができます。(TAPE1 の録音ミュートボタン(REC MUTE)は使えません)

パラレル録音を一時停止する

TAPE2 の一時停止ボタン(PAUSE)を押します。もう一度押すとパラレル録音を再開します。

パラレル録音を停止する

TAPE1 か TAPE2 の停止ボタン(■)を押します。

- ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。



ダビング

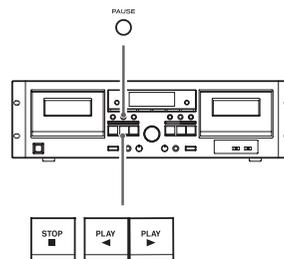
TAPE1 から TAPE2 へのダビングができます。

1 TAPE1 カセットホルダーに再生用、TAPE2 カセットホルダーに録音用のカセットを入れる。

2 TAPE1 の再生方向を選ぶ。

ディスプレイに表示されている TAPE1 の方向インジケータ(PLAY ◀/PLAY ▶)が再生したい方向と逆になっている場合は、次の手順で方向を変えてください。

再生したい方向のインジケータが表示されている場合は、3 に進んでください。



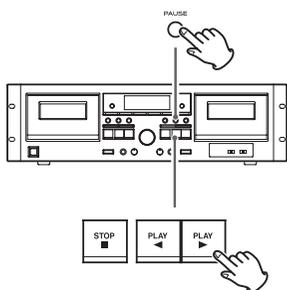
1. TAPE1 の一時停止ボタン(PAUSE)を押して、一時停止状態にする。
2. 録音したい方向の TAPE1 の再生ボタン(PLAY ◀/PLAY ▶)を押して録音方向を変える。
3. TAPE1 の停止ボタン(STOP ■)を押して、一時停止状態を解除する。

- 必要に応じて、リバースモードスイッチ(REV MODE)でリバースモード(≡:片面モード、または ≡:両面モード)を選んでください。(15 ページ)

3 TAPE2 の録音方向を選ぶ。

ディスプレイに表示されている TAPE2 の方向インジケータ(PLAY ◀/PLAY ▶)が録音したい方向と逆になっている場合は、次の手順で方向を変えてください。

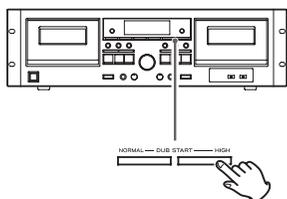
録音したい方向のインジケータが表示されている場合は、4 に進んでください。



1. TAPE2 の一時停止ボタン(PAUSE)を押して、一時停止状態にする。
2. 録音したい方向の TAPE2 の再生ボタン (PLAY ◀/PLAY ▶)を押して録音方向を変える。
3. TAPE2 の停止ボタン(STOP ■)を押して、一時停止状態を解除する。

- 必要に応じて、リバースモードスイッチ(REV MODE)でリバースモード(◀:片面モード、または ▶:両面モード)を選んでください。(19 ページ)

4 ダビングスタートボタン(DUB START)を押して、ダビングを開始する。



定速ダビングボタン(NORMAL)

通常のでダビングします。

定速ダビング中はディスプレイに **NORM DUB** が点灯します。

倍速ダビングボタン(HIGH)

2倍の速度でダビングします。

倍速ダビング中はディスプレイに **HIGH DUB** が点灯します。

- 早送りまたは巻戻しでテープの最後まで巻かれた直後は、ダビングスタートボタン(DUB START)を押しても開始しません。5秒以上経ってから操作してください。

TAPE1 の再生が終わると、ダビングは自動的に停止します。

ダビングを一時停止する

定速ダビング中に TAPE2 の一時停止ボタン(PAUSE)を押します。一時停止中は、TAPE1 は再生を続けますが、TAPE2 は録音しません。

もう一度押すとダビングを再開します。

倍速ダビング中に一時停止はできません。

ダビングを途中停止する

TAPE1 か TAPE2 の停止ボタン(STOP ■)を押します。

- 定速ダビング中に、TAPE2 の録音ミュートボタン(REC MUTE)を使って無音録音(21 ページ)ができます。(TAPE1 の録音ミュートボタン(REC MUTE)は使えません)

不要な部分を消去したり、曲間にスペースを入れながらダビングすることができます。

倍速ダビング中は録音ミュート機能が動きません。

- ダビング中はピッチコントロール機能が動きません。
- ダビングでは録音レベルの調節はできません。



シンクロリバーズダビング

A面からB面に切り換わるタイミングを合わせてダビングすることができます。

テープの長さが異なる場合、短い方はA面の終わりで一時停止し、長い方のテープのA面が終わるまで待ってから、B面の再生/録音を同時に開始します。

TAPE1 (再生用)の方が長い場合

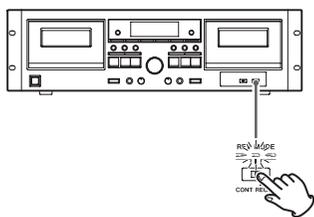
TAPE1 のA面/B面の終わりの方(TAPE2 の長さが足りない分)はダビングされません。

TAPE2 の(録音用)の方が長い場合

TAPE1 の終了後、A面/B面の終わりの方(TAPE2 の長さが余った分)は無信号録音になります。

1 TAPE1 カセットホルダーに再生用、TAPE2 カセットホルダーに録音用のカセットを入れる。

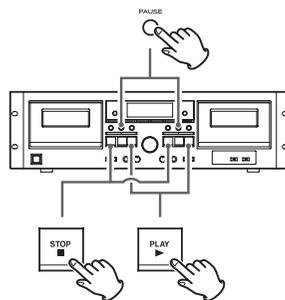
2 リバーズモードスイッチ(REV MODE)で  を選ぶ。



3 TAPE1 と TAPE2 の再生/録音方向を▶にする。

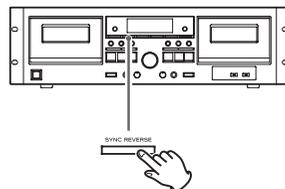
ディスプレイに表示されているTAPE1 / TAPE2 の方向インジケーターが ◀ になっている場合は、次の手順で方向を変えてください。

TAPE1 / TAPE2 の両方とも ▶ のインジケーターが表示されている場合は、**4** に進んでください。



1. 一時停止ボタン(PAUSE)を押して、一時停止状態にする。
2. 再生ボタン(PLAY▶)を押して録音方向を変える。
3. 停止ボタン(STOP■)を押して、一時停止状態を解除する。

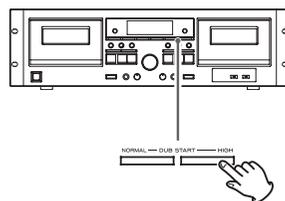
4 シンクロリバーズボタン(SYNC REVERSE)を押す。



ディスプレイに SYNC REV が点灯し、シンクロリバーズモードになります。

- リバーズモードが  または  になっているとき、TAPE1 と TAPE2 のテープ再生/録音方向が ◀ になっているときは、シンクロリバーズモードになりません。

5 ダビングスタートボタン(DUB START)を押して、ダビングを開始する。





タイマー再生/録音

定速ダビングボタン(NORMAL)

通常の速度でダビングします。

定速ダビング中はディスプレイに **NORM DUB** が点灯します。

倍速ダビングボタン(HIGH)

2倍の速度でダビングします。

倍速ダビング中はディスプレイに **HIGH DUB** が点灯します。

- 早送りまたは巻戻しでテープの最後まで巻かれた直後は、ダビングスタートボタン(**DUB START**)を押しても開始しません。5秒以上経ってから操作してください。

TAPE1 の再生が終わると、ダビングは自動的に停止します。

ダビングを一時停止する

定速ダビング中に TAPE2 の一時停止ボタン(**PAUSE**)を押します。一時停止中は、TAPE1 は再生を続けますが、TAPE2 は録音しません。

もう一度押すとダビングを再開します。

倍速ダビング中に一時停止はできません。

ダビングを途中停止する

TAPE1 か TAPE2 の停止ボタン(**STOP**■)を押します。

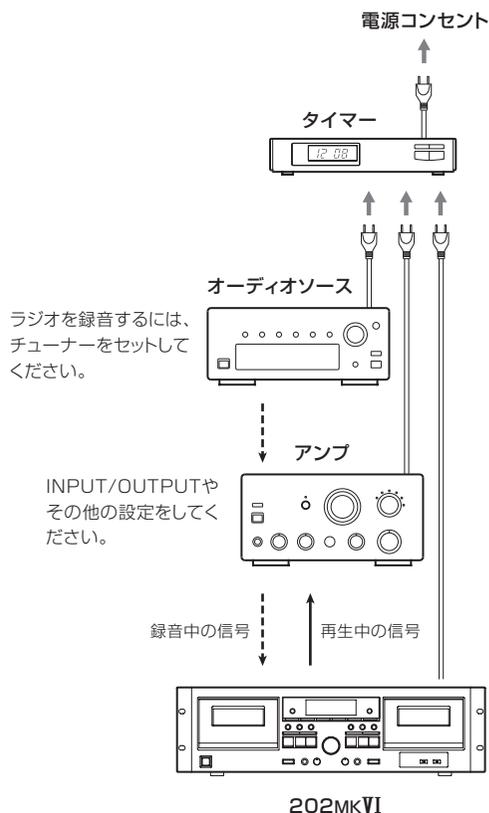
- 定速ダビング中に、TAPE2 の録音ミュートボタン(**REC MUTE**)を使って無音録音(21 ページ)ができます。(TAPE1 の録音ミュートボタン(**REC MUTE**)は使えません)
不要な部分を消去したり、曲間にスペースを入れながらダビングすることができます。
倍速ダビング中は録音ミュート機能が動きません。
- ダビング中はピッチコントロール機能が動きません。
- ダビングでは録音レベルの調節はできません。

市販のオーディオタイマーを接続して、設定した時間に再生や録音を開始することができます。

- タイマー再生では、本機にセットしたカセットテープのみ再生することができます。外部接続機器をタイマー再生することはできません。
- タイマー録音のソースは、タイマー動作可能な外部接続機器のみです。(ラジオ放送のタイマー録音など)
タイマーでTAPE1 から TAPE2 へのダビングはできません。

接続

下図を参考に、機器を接続してください。



ダビング

タイマー

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。



タイマー再生/録音(続き)

タイマー再生

- タイマー再生では、本機にセットしたカセットテープのみ再生することができます。外部接続機器をタイマー再生することはできません。

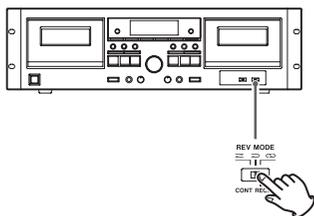
1 前のページの接続図を参考にして、202MKVIとその他の機器を市販のオーディオタイマーに接続する。

2 全ての機器の電源をオンにする。

3 タイマー再生したいカセットを入れて、リバースモードの設定をする。

リバースモード

再生は常にA面から始まります。



☐ にセットした場合

A面のみを再生をします。

- TAPE1 と TAPE2 の両方にカセットが入っているときは、TAPE1 のA面の再生をして停止します。
TAPE2 のカセットのみが入っているときは、TAPE2 のA面の再生をします。

☐ にセットした場合

両面を連続して再生します。

A面の最後まで再生すると、自動的にリバースし、引き続きB面を再生します。

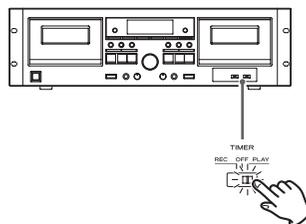
- TAPE1 と TAPE2 の両方にカセットが入っているときは、TAPE1 の両面の再生をして停止します。
TAPE2 のカセットのみが入っているときは、TAPE2 の両面の再生をします。

☐ にセットした場合

両面を最長5回まで連続して再生します。

- TAPE1 と TAPE2 の両方にカセットが入っているときは、TAPE1 と TAPE2 が連続して再生されます。(17 ページ「連続再生」)

4 タイマー設定スイッチ(TIMER)を「PLAY」にセットする。



5 オーディオタイマーのオン/オフの時間を設定する。

設定を終了したら、タイマーからの電源供給を全てオフにしてください。

このとき、202MKVIの電源ボタン(POWER)を押さないでください。

ボタンは押されたままの状態(オンの位置)のままにしておいてください。オフの状態になっていると、タイマー再生は動作しません。

タイマーオンの時間になると、接続した機器にタイマーから電源が供給され、再生が始まります。

- タイマーを使わないときは、タイマー設定スイッチ(TIMER)を「OFF」にセットしてください。

タイマー録音

- タイマー録音のソースは、タイマー動作可能な外部接続機器のみです。(ラジオ放送のタイマー録音など)
タイマーでTAPE1 から TAPE2 へのダビングはできません。

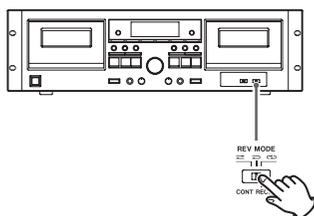
1 前のページの接続図を参考にして、202MKVIと機器を市販のオーディオタイマーに接続する。

2 全ての機器の電源をオンにする。

3 タイマーで録音したいカセットテープを入れて、リバースモードを選択する。

リバースモード

録音は常にA面から始まります。



☐ にセットした場合

A面のみに録音します。

- TAPE1 と TAPE2 の両方にカセットが入っているときは、TAPE1 のA面に録音して停止します。
TAPE2 のカセットのみが入っているときは、TAPE2 のA面に録音します。

☐ にセットした場合

両面に連続して録音します。

A面の最後まで録音すると、自動的にリバースし、引き続きB面に録音します。

- TAPE1 と TAPE2 の両方にカセットが入っているときは、TAPE1 の両面に録音して停止します。
TAPE2 のカセットのみが入っているときは、TAPE2 の両面に録音します。

☐ にセットした場合(連続録音)

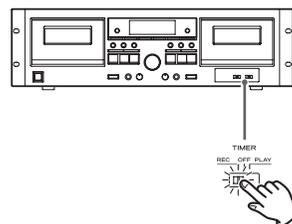
TAPE1 と TAPE2 の両方にカセットを入れてください。TAPE1 と TAPE2 に連続して録音されます。(23 ページ「連続録音」)

- 消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。
- ノーマル(タイプ I)、またはハイポジション(タイプ II)のテープに録音することができます。

ご注意

前回の使用の時、テープがB面の途中で終わっていると、録音はA面の途中から始まってしまう。大切な録音を誤って消してしまわないようご注意ください。特に、2回以上連続してタイマー録音する場合にご確認ください。

4 タイマー設定スイッチ(TIMER)を「REC」にセットする。



5 (ラジオ放送の録音の場合)

録音したい放送局を選局する。

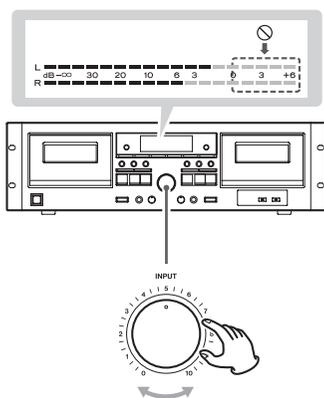


タイマー再生/録音(続き)

6 録音レベルを調節する。

録音を行う前には録音レベルを調節してください。適切な録音レベルではない場合、音が歪んだり(レベル大きすぎ)、ノイズが多い(レベル小さすぎ)録音になります。

1. 録音ソースを再生する。
2. 録音レベル調節つまみ(INPUT)を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節する。



- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソース毎に録音レベルの調節が必要です。

7 オーディオタイマーのオン/オフの時間を設定する。

設定を終了したら、タイマーからの電源供給を全てオフにしてください。

このとき、202MKVIの電源ボタン(POWER)を押さないでください。

ボタンは押されたままの状態(オンの位置)のままにしておいてください。オフの状態になっていると、タイマー録音は動作しません。

タイマーオンの時間になると、接続した機器にタイマーから電源が供給され、録音が始まります。

- タイマーを使わないときは、大切なカセットテープに誤って上書き録音しないように、必ずタイマー設定スイッチ(TIMER)を「OFF」の位置にしておいてください。



困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も併せてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

電源が入らない。

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

電源を入れると、再生/録音が始まってしまう。

- ➔ タイマー設定スイッチ(TIMER)を「OFF」にしてください。

ボタンを押しても反応しない。

- ➔ 動作中は、ボタンを押しても反応しないことがあります。しばらく待ってから再度ボタンを押してください。
- ➔ カセットが入っていない場合はカセットを入れてください。
- ➔ カセットを正しく挿入してください。

音が出ない。または小さな音しか出ない。

- ➔ アンプとの接続を確認してください。
- ➔ スピーカーや他の機器との接続を確認してください。
- ➔ 接続した機器の操作が正しいか確認してください。
- ➔ スピーカーケーブルの⊕/⊖がショートしていないか確認してください。

雑音がする。

- ➔ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

カセットホルダーが開まらない。

- ➔ カセットテープが正しくセットされていないと閉まりません。正しく入れ直してください。

音質が悪い。

- ➔ ヘッドをクリーニングしてください。(8 ページ)

再生スピードが速い/遅い。

- ➔ ピッチコントロールの設定を確認してください。(17 ページ)

オートリバースしない。

- ➔ リバースモードを  または  にセットしてください。
- ➔ リバースモードが  に設定されているときは、A面から再生してください。

録音できない。

- ➔ 消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。
- ➔ 録音レベルを確認してください。(19 ページ **4**)
- ➔ アンプやソース機器との接続を確認してください。
- ➔ アンプのセレクターが適切な設定になっているか確認してください。

連続再生/録音できない。

- ➔ リバースモードを  にセットしてください。
- ➔ TAPE1 と TAPE2 の両方にカセットを入れてください。
- ➔ 連続録音は、TAPE1 から開始してください。TAPE2 のボタンを押しても開始しません。

シンクロリバースダビングできない。

- ➔ リバースモードを  にセットしてください。
- ➔ TAPE1 と TAPE2 の両方にカセットを入れてください。
- ➔ TAPE1 と TAPE2 の両方とも、テープ再生/録音方向を  にセットしてください。

タイマー再生/録音が始まらない。

- ➔ タイマー再生の場合は、タイマー設定スイッチ (TIMER) を「PLAY」にしてください。
タイマー録音の場合は、タイマー設定スイッチ (TIMER) を「REC」にしてください。
- ➔ 電源ボタン (POWER) を押して、本体の電源をオンの状態にしておいてください。
- ➔ タイマー再生/録音の設定が終わったら、タイマーからの電源供給がオフになるようにしてください。(タイマーからの電源供給がオンになると、202MKVIIは動作します)

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。



仕様

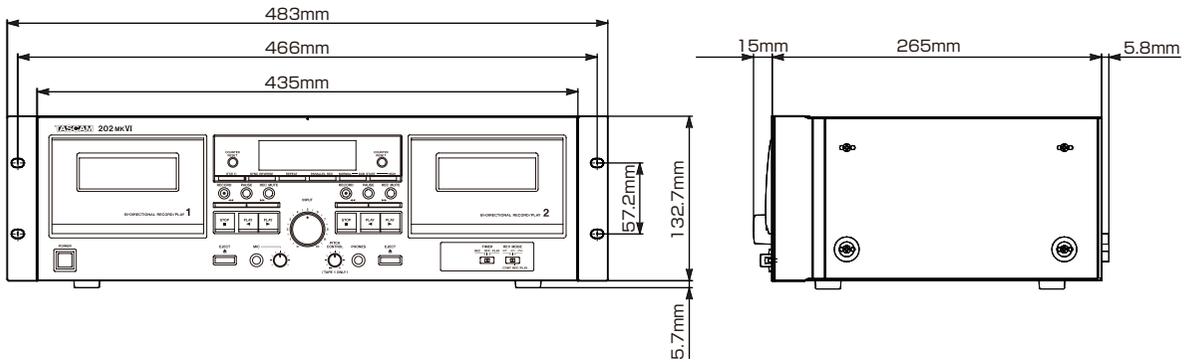
カセットレコーダー部

トラック形式	4トラック2チャンネル・ステレオ
ヘッド構成	録音再生ヘッド (TAPE1 / TAPE2 各1) 消去ヘッド (TAPE1 / TAPE2 各1)
テープ速度	4.8 センチ/秒 9.5センチ/秒(倍速ダビング時)
ピッチコントロール	±12%
早巻き時間	C-60テープで約160秒
ワウ・フラッター	0.25% (WRMS)
周波数特性	
ハイポジションテープ (タイプII)	30Hz-15kHz (±4dB)
ノーマルテープ (タイプI)	30Hz-13kHz (±4dB)
総合S/N比	58dB (最大録音レベル入力時、A-Weight)
アナログ音声入力端子(RCA)	
基準入力レベル	0.28V
入カインピーダンス	50kΩ
マイク入力端子(モノラル標準ジャック)	
基準入力レベル	0.38mV
入カインピーダンス	47kΩ
アナログ音声出力端子(RCA)	
基準出力レベル	0.46V
負荷インピーダンス	50kΩ以上
ヘッドホン出力端子 (ステレオ標準ジャック)	
	2mW (32Ω)

一般

電源	100V AC、50-60Hz
消費電力	14W
外形寸法 (幅×高さ×奥行、突起部を含む)	483 x 138.4 x 285.8mm
質量	5.4kg

外形寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) メンテナンス

(7) 本書の提示がない場合

(8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用頂けない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China

保証書

品名	ダブルオートリバース カセットデッキ
および 形名	202MKVI
機番	
保証期間	本体

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前
	ご住所

販売店	
	電話 ()

見本